

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公開番号】特開 2005-104457(P2005-104457A)  
 【公開日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-016  
 【出願番号】特願 2004-247982(P2004-247982)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 S 5/00 (2006.01)**

**B 3 2 B 7/12 (2006.01)**

**B 4 4 C 1/165 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 S 5/00

B 3 2 B 7/12

B 4 4 C 1/165 K

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 8 月 1 日 (2007.8.1)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 2 2  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0 0 2 2】

次に、本発明の塗装補修用転写部材 4 は、図 3 に示すように、剥離性を有する基材 1 1 上に、色材層 1、粘着層 2、およびセパレーター 2 2 をこの順に有するものである。本発明の塗装補修用転写部材 4 をこのような構成とすることにより、予め剥離性を有する基材 1 1 上に色材層 1、粘着層 2、セパレーター 2 2 がこの順に積層されているため、使用者は色材層 1 を形成する必要がなく、また色材層 1 と粘着層 2 を貼合する必要がないため、傷部分を極めて容易に補修することができる。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 5 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0 0 5 6】

以上のように、本発明の塗装補修用部材によれば、剥離性を有する基材上に後から色材層を形成することができるため、使用者が前記剥離性を有する基材に所望の補修塗料を塗布することができる。また、当該塗装補修用部材を用いた本発明の塗装補修方法によれば、塗装面に形成された傷部分に貼付することにより、傷部分を雨による錆つき、紫外線による劣化等から保護し、容易にかつ美しい仕上がりになるため、補修部分が目立たなく

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 7 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 7 1】

以上のように、図 7 ~ 図 10 に示す本発明の塗装補修用部材、および塗装補修方法によれば、塗装補修後は、図 8 の (E) のような仕上がりとなるため、補修部分は目立たなく

なりより一層美しい仕上がりとすることができる。